

# 臨床工学科

臨床工学科 主任臨床工学技士 田野史晃

## 1. 部門目標

- ・ 医療機器保守点検の拡充
- ・ 生命維持管理装置の操作における安全性の確立

## 2. スタッフ・業務体制

### 【スタッフ】

令和6年度新規採用者1名が加わり合計7名体制である。

### 【臨床支援業務体制】

以下の業務に関して医師の指示の下、検査・治療を行っている。

- ・ 人工心肺業務
- ・ 集中治療業務
- ・ 新生児集中治療業務
- ・ 心血管カテーテル業務
- ・ ペースメーカー業務
- ・ 不整脈治療業務
- ・ ER業務

### 【後方支援業務体制】

院内で使用する医療機器の中央管理、生命維持管理装置等の点検を行い、使用時における機器のトラブルの低減に努めている。

### 【夜間・休日体制】

夜間・休日に関しては24時間365日院外待機を実施。機器対応や緊急業務に対応を行っている。

## 3. 業務実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
臨床支援			
CPB	42	50	61
ECMO	7	6	6
IABP	18	11	12
KRT	31	28	36
PCI/EVT	292	269	244
PM	53	64	63
ER対応	1166	906	1153
後方支援			
医療機器総点検数	14387	18179	24627

#### 4. 1年間の総括

- 新規採用による増員
  - R6年度では1名の新規採用者を迎え、7名体制となった。
- フットポンプ中央管理化
  - 部署管理としていたフットポンプを中央管理とし、機器の整備を行うためメンテナンスライセンス取得を行った。ライセンス取得により定期点検や修理対応も可能となり、故障対応など、よりスピーディーに院内完結できるようになった。
- 医療機器総点検件数の増加
  - 医療機器総点検件数がR6年度でおよそ6000件増加。その背景としてフットポンプの中央化に伴う使用後点検、定期点検の実施が挙げられる。
- 他施設研修の実施
  - 症例数が少ない臨床業務に関して、他施設研修を行った。技能の向上はもちろん視野の拡大、新病院開院に向けた準備にもつながった。
- 既存業務の充実化
  - ICU,NICU など他職種によるカンファレンスを定期開催。よりよい医療を実現し患者ファーストな体制を整えるべく活動を行っている。

#### 5. 今後の目標

##### 【業務拡充】

引き続き既存業務のブラッシュアップを行う。

中央管理機器の充実化。

各種点検ライセンスの取得にて点検業務の効率化・経費削減を図る。

新病院移転にて新規業務整備を行っていく。

##### 【医療安全体制の構築】

引き続き各業務内容のマニュアル化を推進。標準化に努める。